

# 令和6年度バス利用に関する 県民アンケート調査結果（速報値）

令和6年8月5日 宮崎県バス利用促進協議会

# 1 アンケート項目

## (1) 共通項目

- 問1) 性別、職業、年齢、運転免許証の有無、普段利用する移動手段
- 問2) お住まいの市町村
- 問3) これまでの路線バスの利用の有無（ありの場合、その目的）
- 問4) バスの乗り方教室の認知度、参加経験
- 問5) バスロケーションシステムの認知度
- 問6) モバイル乗車券の認知度
- 問7) 自宅から最寄りのバス停までの距離
- 問8) 現在の、路線バスの利用の有無→ (2) 又は (3) へ

## (2) 現在路線バスを利用している方

- 問1) 利用の目的、頻度、利用区間
- 問2) 運賃の支払方法
- 問3) 路線バスに対する満足度
- 問4) 今後、よりバスを利用したくなるためには

## (3) 現在路線バスを利用しない方

- 問1) 路線バスを利用しない理由
- 問2) 路線バスに対するイメージ
- 問3) 今後、バスを利用したくなるためには

## 2 結果（1）共通項目\_回答者の属性【n=1,908】

### ・アンケート発送数

5,690件

※市町村による無作為抽出により対象者を選定

### ・アンケート期間

6月25日～7月8日まで

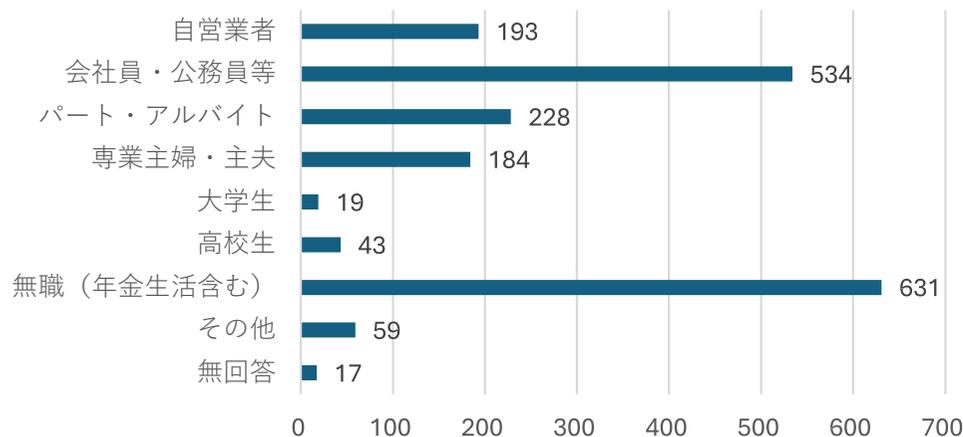
### ・回収

1,908件（回収率：33.5%）

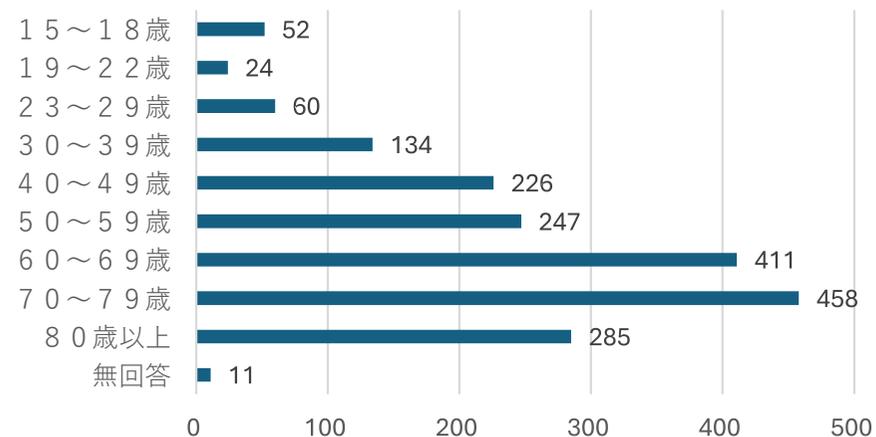
市町村	回答数	発送数
宮崎市	701	2,090
都城市	282	840
延岡市	229	630
日南市	102	270
小林市	70	230
日向市	96	310
串間市	35	90
西都市	47	160
えびの市	41	100
三股町	35	130
高原町	12	50
国富町	35	100
綾町	13	40
高鍋町	32	110
新富町	29	90
西米良村	3	10
木城町	10	30
川南町	19	80
都農町	10	60
門川町	34	100
諸塚村	6	10
椎葉村	8	20
美郷町	6	30
高千穂町	27	70
日之影町	9	20
五ヶ瀬町	7	20
無回答	10	
計	1,908	5,690

## 2 結果（1）共通\_回答者の属性【n=1,908】

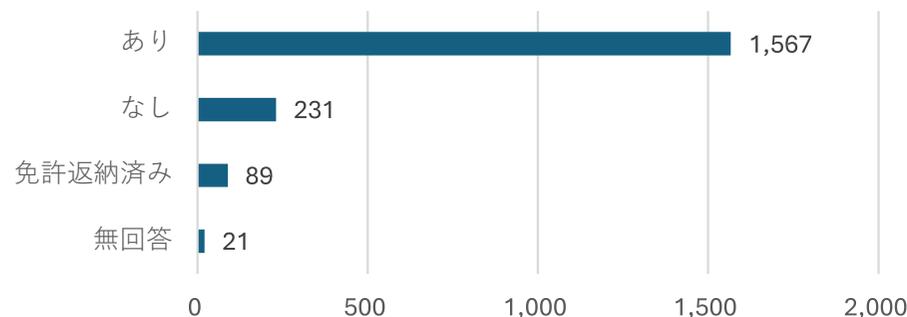
### Q1.職業



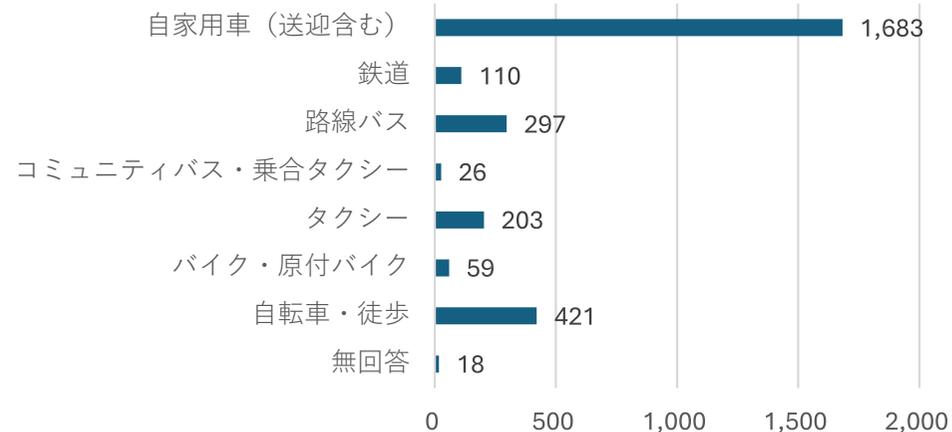
### Q1.年齢



### Q1.運転免許証の有無



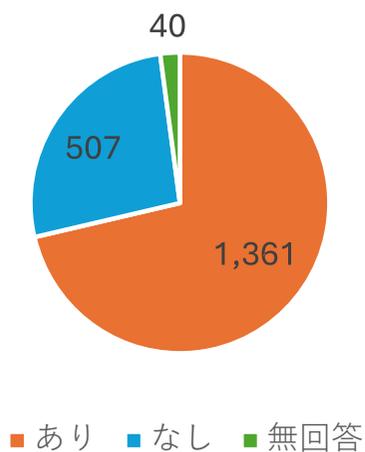
### Q1.普段利用する移動手段



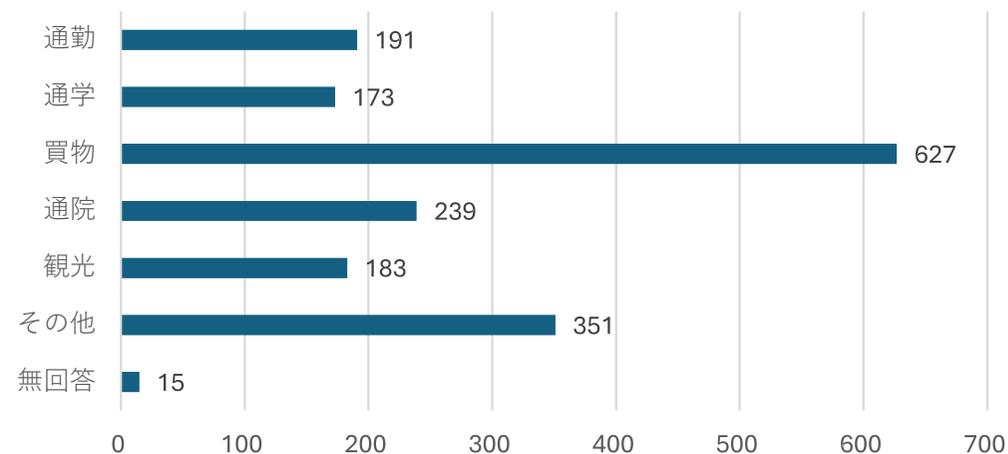
- 1,567人（82.1%）が運転免許所有者であり、非保有者は320人（16.8%）となっている。
- 普段利用する移動手段では、自家用車が1,683人（88.2%）と最も多いが、路線バスも297人（15.6%）となっている。

## 2 結果（1）共通\_これまでの路線バスの利用の有無【n=1,908】

Q3.これまで、県内で路線バスを利用したことがあるか



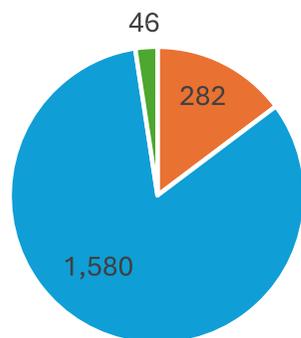
Q3.バスを利用した目的 ※複数回答可



- 1,361人（71.3%）の方が、これまでバスを利用したことあり。
- 利用した目的としては、買物が627人と突出して多くなっている。

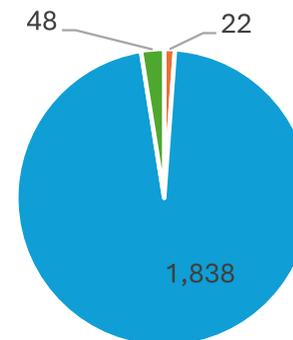
## 2 結果（1）共通\_各認知度【n=1,908】

Q4. 「バスの乗り方教室」を知っているか



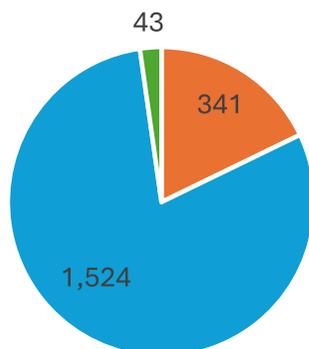
■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

Q4. 「バスの乗り方教室」への参加経験



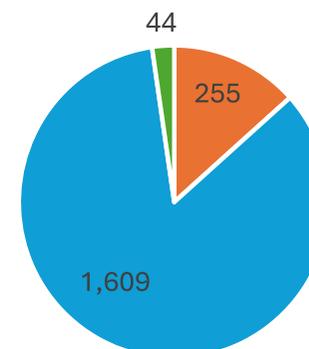
■ あり ■ なし ■ 無回答

Q5. 「バスロケーションシステム」を知っているか



■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

Q6. 「モバイル乗車券」を知っているか

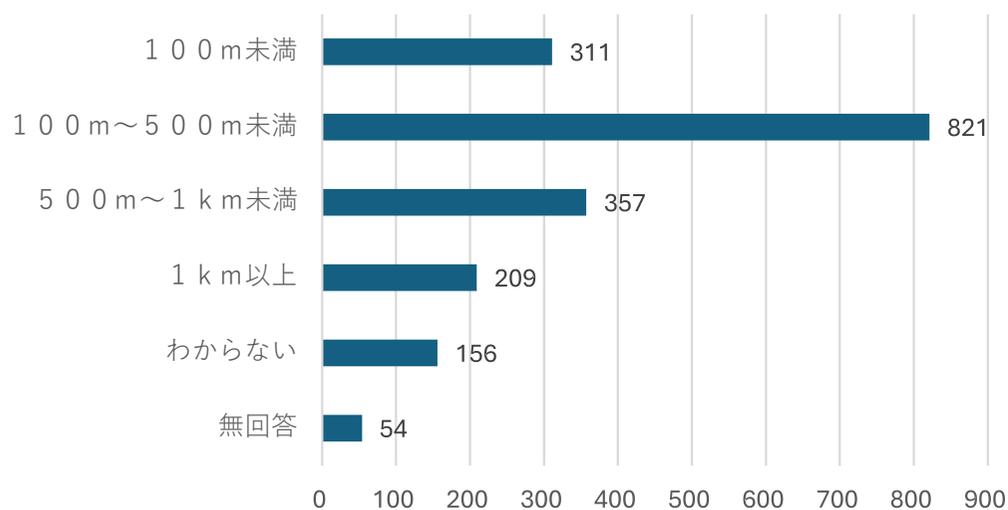


■ 知っている ■ 知らない ■ 無回答

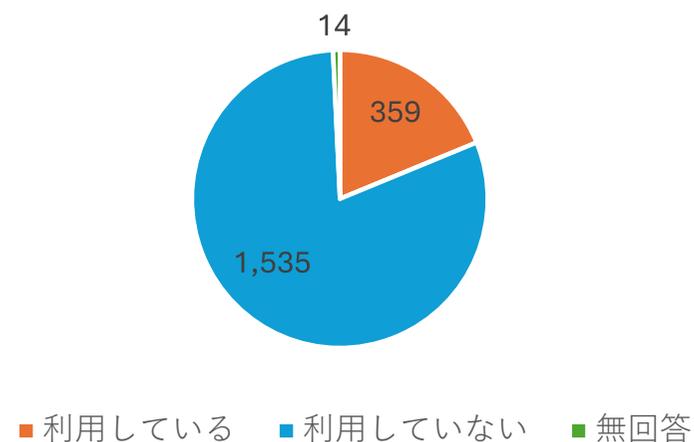
- バスの乗り方教室、バスロケーションシステム、モバイル乗車券の認知度はいずれも20.0%を下回っている。

## 2 結果（1）共通\_\_バス停までの距離、現在のバス利用【n=1,908】

Q7.自宅から最寄りのバス停の距離



Q8.現在、バスを利用しているか

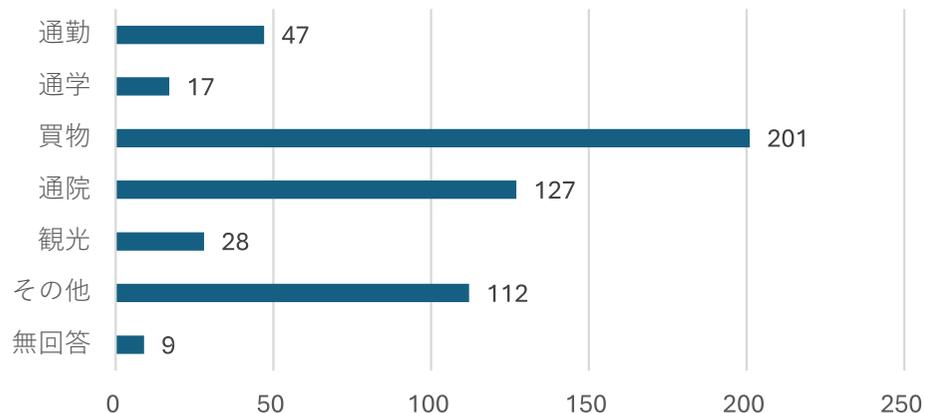


- バス停までの距離では、500m未満が1,132人（59.3%）、500m以上が566人（29.7%）である。
- 現在バスを利用している方は359人（18.8%）となっている。

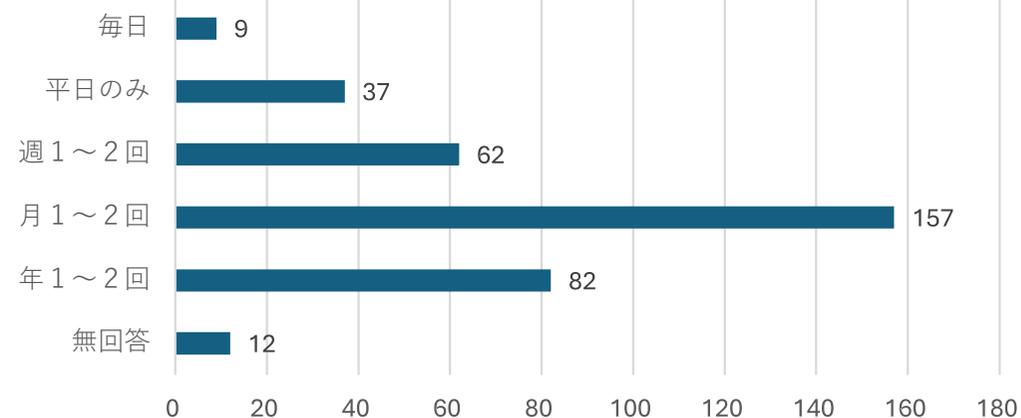
※ 以降、「バス利用者」と「バスを利用していない方」に分けた設問

## 2 結果（2）バス利用者\_\_目的、頻度、支払方法【n=359】

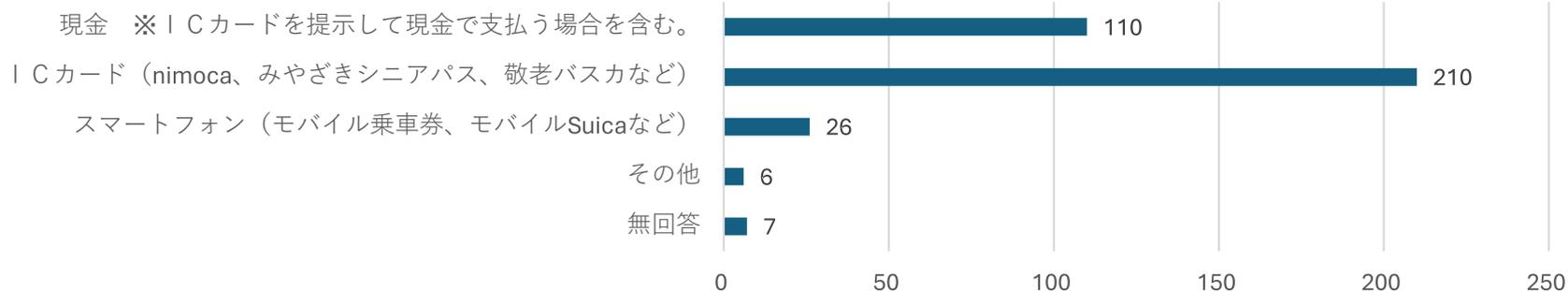
### Q1.利用目的 ※複数回答可



### Q1.利用頻度



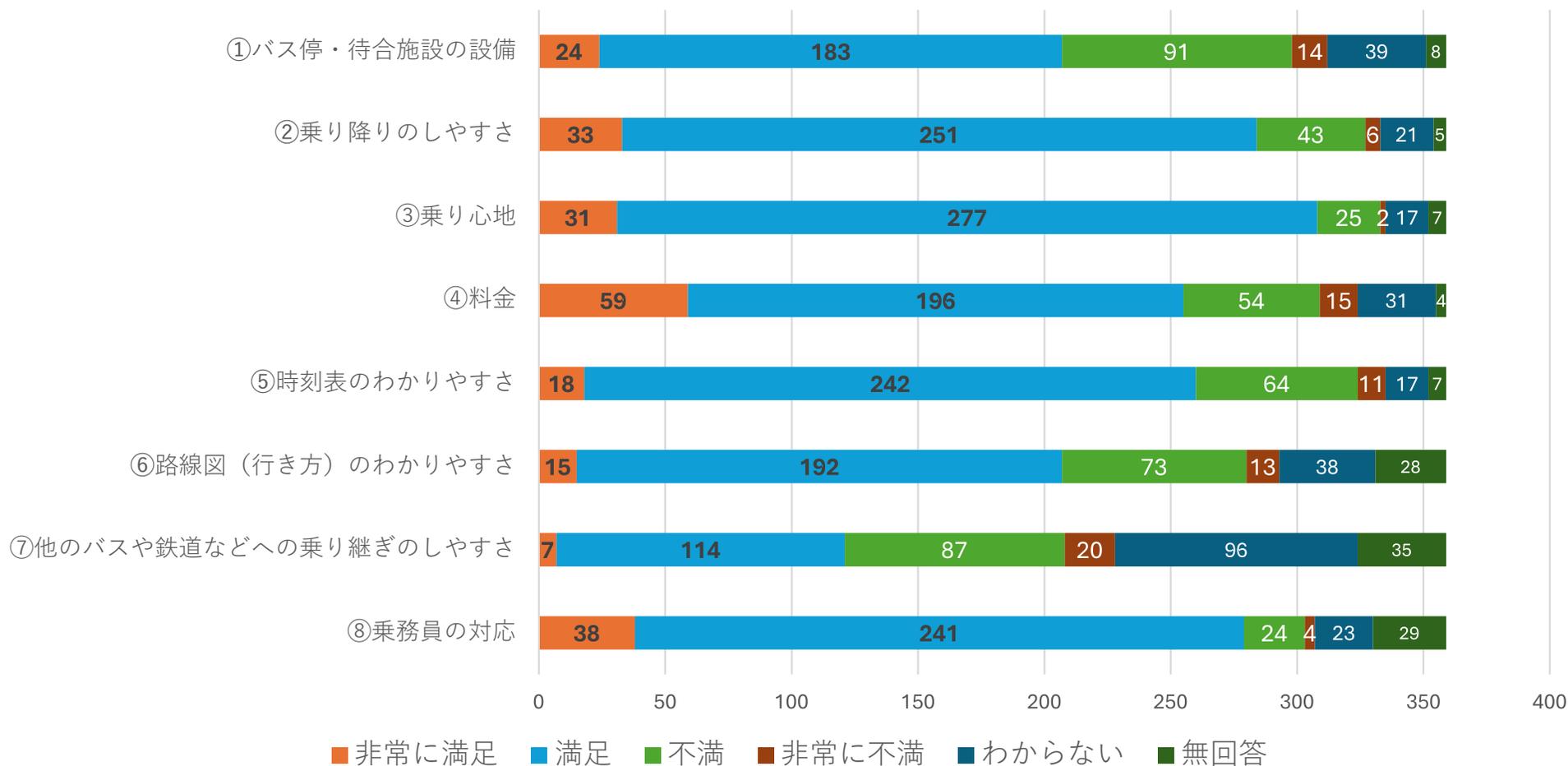
### Q2.決済方法



- 利用目的は、買物が201人と最も多く、次いで、通院127人である。
- 利用頻度では、週1回以上の利用は108人（30.1%）である。
- 決済方法は、現金が110人（30.6%）、キャッシュレスが236人（65.7%）である。

## 2 結果（2）バス利用者\_路線バスに対する満足度【n=359】

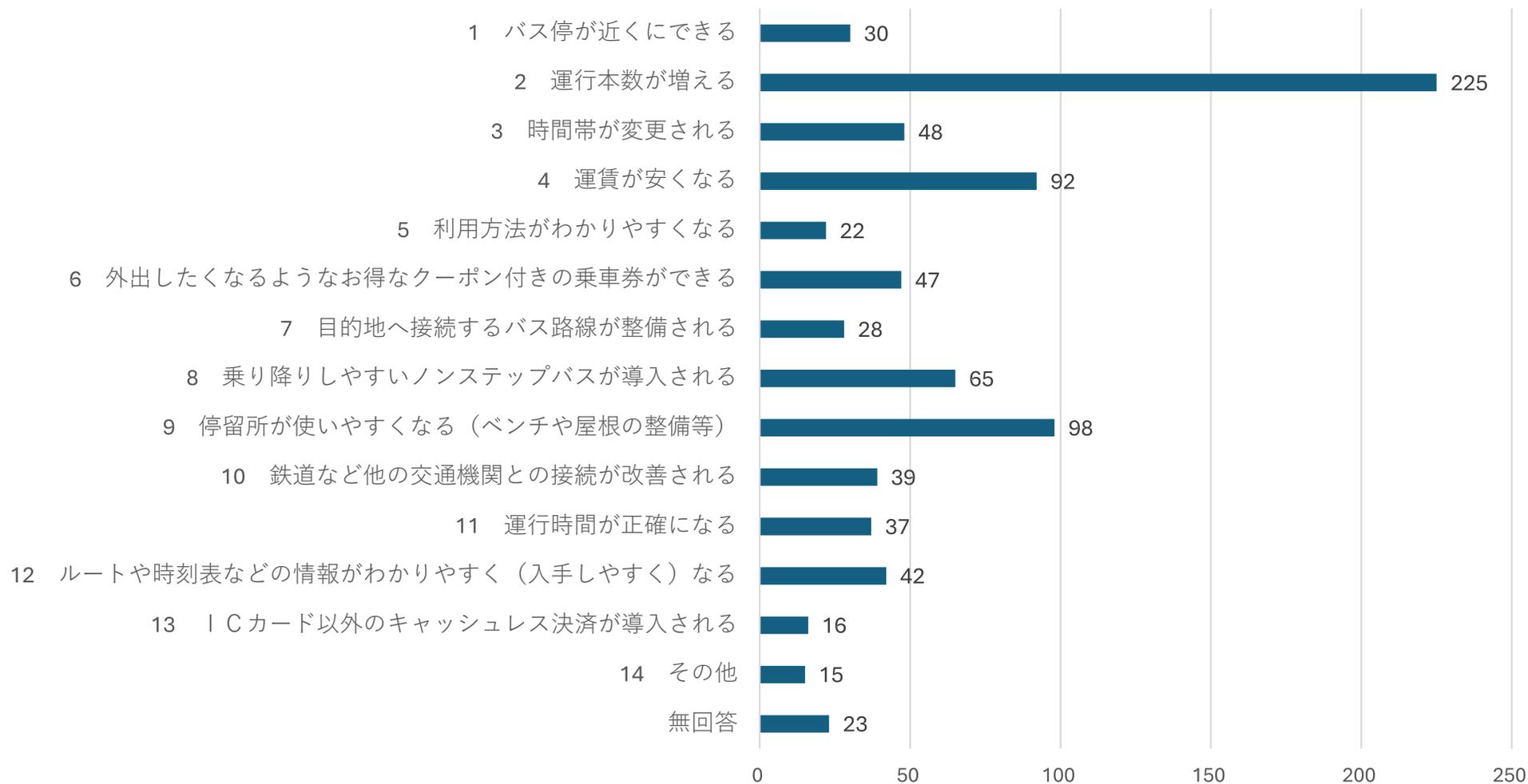
### Q3.路線バスに対する満足度



- ③乗り心地、②乗り降りのしやすさ、⑧乗務員の対応では、満足度が高くなっている。
- 一方、⑦他のバスや鉄道などへの乗り継ぎのしやすさ、①バス停・待合施設の設備や、⑥路線図（行き方）のわかりやすさでは、相対的に満足度が低くなっている。

## 2 結果（2）バス利用者\_\_よりバスを利用するには【n=359】

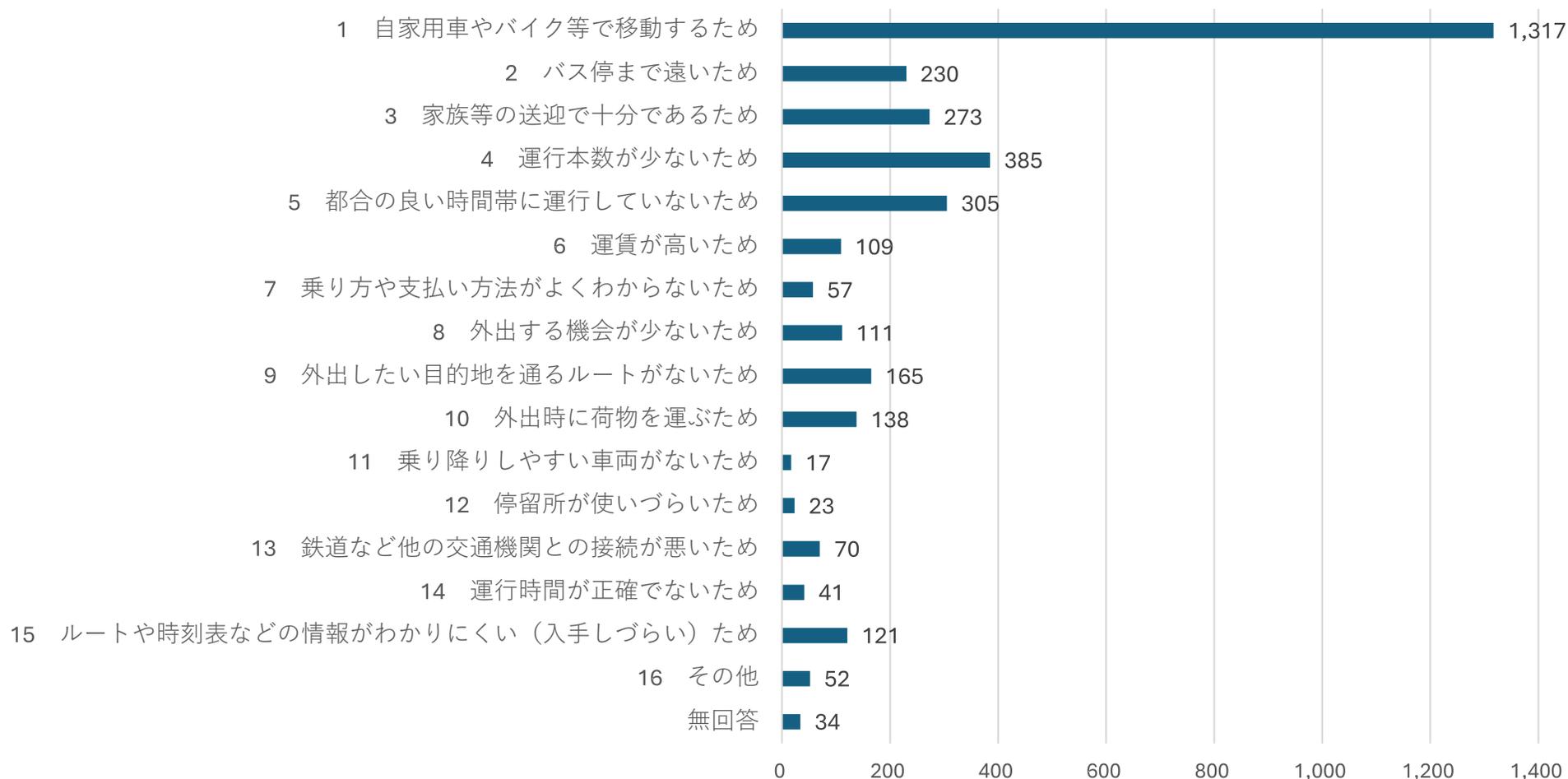
Q4.よりバスを利用するには ※複数回答可



- 「2 運行本数が増える」、「9 停留所が使いやすくなる」、「4 運賃が安くなる」の順に多くなっている。

## 2 結果 (3) バス非利用者\_利用しない理由【n=1,535】

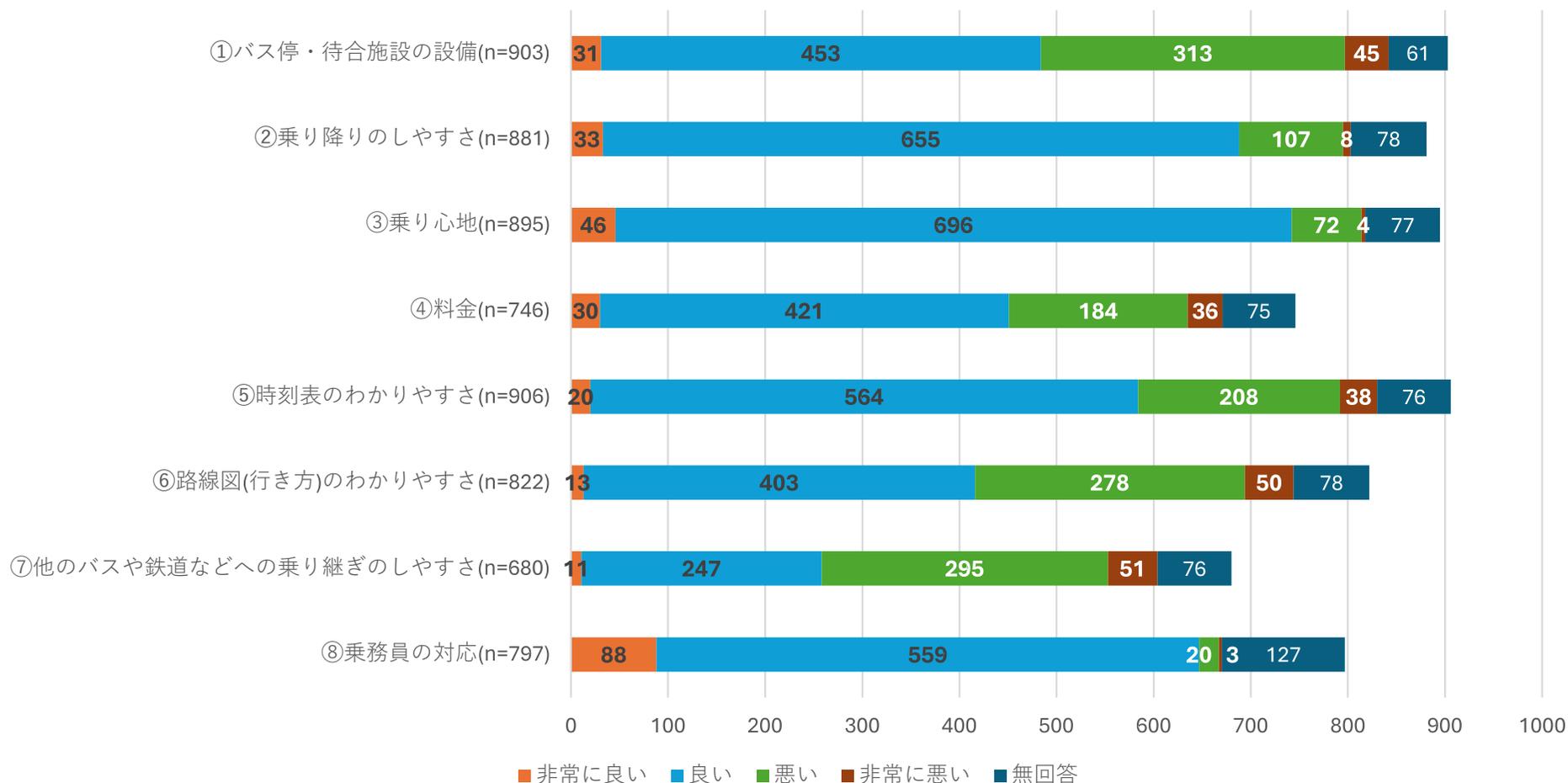
Q1.路線バスを利用しない理由 ※複数回答可



- 「1 自家用車等で移動できるため」が突出して多くなっており、次いで「4 運行本数が少ないため」、「5 都合の良い運行時間帯に運行していないため」が多くなっている。

## 2 結果（3）バス非利用者\_路線バスのイメージ【n=1,535】

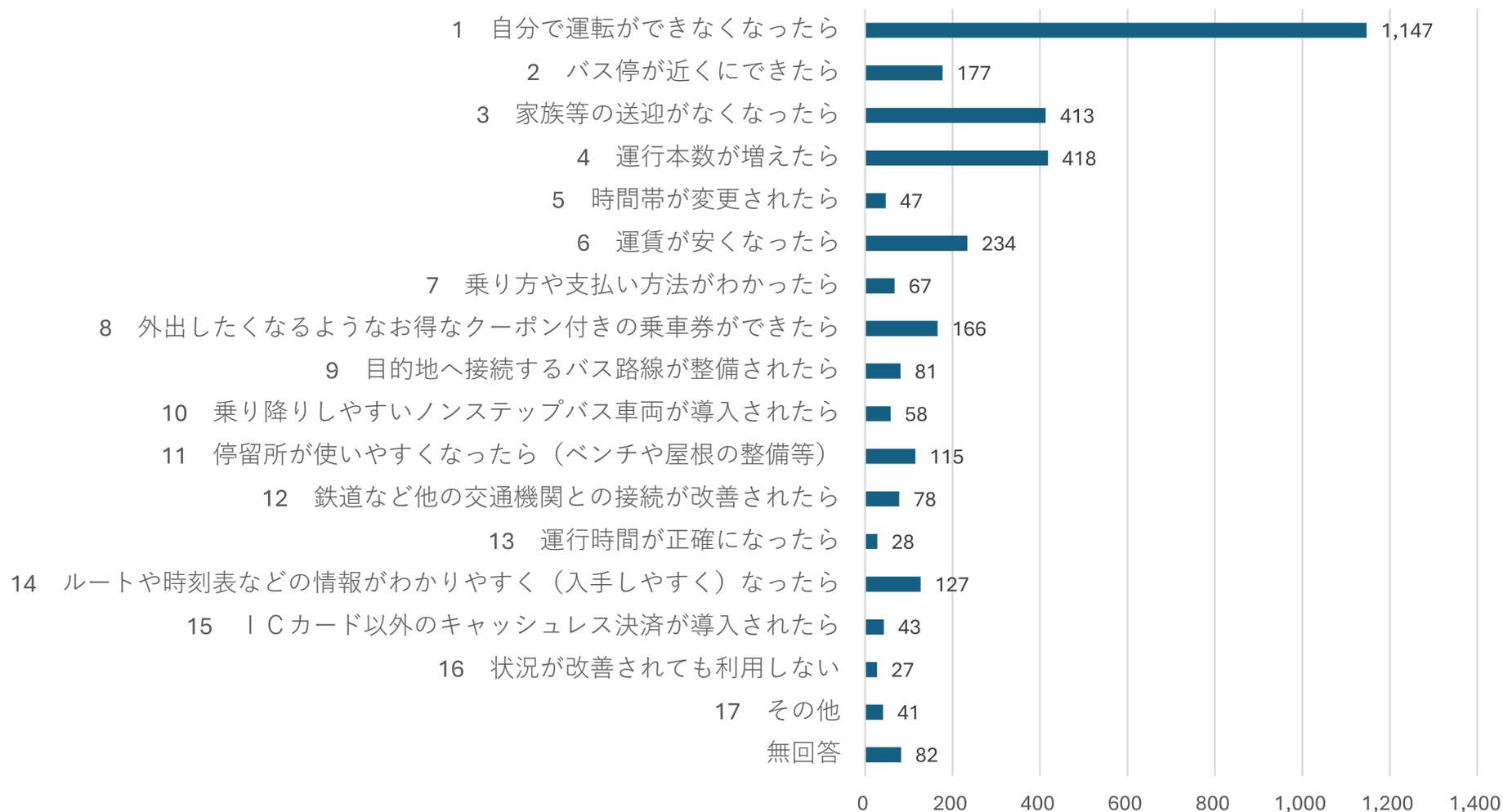
Q2.路線バスのイメージ ※「わからない」の回答を除く



- ③乗り心地、②乗り降りのしやすさ、⑧乗務員の対応の順に良いイメージを抱かれている。
- 一方、⑦他のバスや鉄道などへの乗り継ぎのしやすさ、⑥路線図のわかりやすさ、④料金のイメージが相対的に芳しくない。

## 2 結果（3）バス非利用者\_バスを利用するには【n=1,535】

Q3.どうすれば路線バスを利用するようになるか ※複数回答可



- 「1 自分が運転できなくなったら」が突出して多く、次いで「4 運行本数が増えたら」、  
「3 家族等の送迎がなくなったら」が多くなっている。